

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	週2回の入浴の実施ではあり、清潔を目的としているだけのものである。入浴がもっと、個々に応じた気持ちよく、楽しみとなるような支援、取り組みが必要。	入浴が楽しみ、またリラックスできるような環境(音楽や入浴剤使用など)作りをして、週2回の入浴が満足できるものにする。	個々の聞き取りを行い、まず午後からの時間のいつ頃に入りたいか聴き取り行う、毎月、季節に応じた入浴剤(市販のものに頼らず自然のもの)を使用する。	3ヶ月
2	6	夜間等転倒のリスクのある方に使用中のセンサーの継続しての使用状況の家族へ説明や必要のない場合などについての振り返りをしていない。	センサーの使用の際はご家族に説明をし、定期的なモニタリングの際評価も行う。	モニタリングで評価し、センサーの必要があれば、その都度家族へ説明行う。又入居者の行動の把握ができれば、なるべくセンサーを外していく方向も視野に入れていく。	3ヶ月
3	35	ここ2年間、災害対策が実施できていない。新しい職員にも避難経路などの説明ができていない。備蓄の把握も不十分である。	法人全体での災害時の避難訓練の実施、もしくはホームの職員での避難経路の確認をする。備蓄のリストアップを掲示しておく。	外部の立ち入りは厳しい状況にあるので、ホーム内での避難訓練を行う。職員全員で避難経路や、様々な災害時の対応のマニュアルを確認する。備蓄の確認を再度行う。	6ヶ月
4	36	馴れ合い言葉使いなど職員の対応で雰囲気を崩すこともあり職員自身が大切な環境としての振り返りの機会が必要。	職員の言葉使い、態度が環境の一部だと自覚できる取り組みを行う。	入居者様に対してだけではなく、普段からの言葉使い、声掛けには十分気を付ける。又職員間で気付きが合った場合は気軽に言い合えるような環境作りをする。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。